

第5学年・3月保護者会資料

1月に初めてのリモート保護者会を行ったばかりなのに、もう5年生の最後の保護者会になってしまいました。最後まで「リモート」なのは残念ですが、両担任ともに、5年生のよき成長と成果をご報告できるのは喜ばしいことです。

「この1年間、行事も集会もなかったけど、楽しかったでしょ。」

「毎日、楽しかった！」

という反応がたくさん返ってきました。特別なことが楽しいのは確かです。しかし、毎日の当たり前の生活が充実しているからこそ、特別なことはより楽しくなるのです。だから運動会がなくても、学芸会がなくても、夏季学園がなくても、日々の授業が楽しく、友達関係がよく、目指すべき目標が常に示されていてチャレンジできる場があるのなら、当たり前の日常は明るく輝くのです。そういう試みや活動を、5学年では行ってきました。

道徳科で「5年生になって成長したことを振り返る」学習をしました。他者からの目線も評価の観点にしてもらおうと「友達の成長」をカードに書いて交換をしました。

「自分でそうだと思っていたけど、友達も同じように感じていて自信になりました。」

「たくさんの友達が同じことを書いてくれたので、自分の変化に気が付きました。」

と多くの子が、自分の変容を語っていました。

『自分は頑張ったからきっと伸びただろう』『自分は変わったと、周りの人も認めてくれるだろう』と私たちは思っています。しかし、それでは足りないのです。自分で思っている、他者がきちんと言葉にして評価することで、確信し、自信を深めることができるのです。大人の私たちでさえ、褒めてもらったり認めてくれたりすると嬉しくてウキウキすることは誰もが経験あると思います。子供はなおさらそうなのです。特にこの5年生は、これまで叱られたり指導を受けたりすることが多く、自己肯定感をもてずにいた子が少なからずいました。しっかりと見取り、正しく評価し、変容を褒める（できないときは厳しくも正しい助言をする）ことで、子供たちは着実に歩を進め、ここまで来ました。

6年になるための土台はできました。あとは、積み上げていくだけです。現段階でも、素晴らしい6年生になるだけの力は十分もっています。わずか10か月の担任でしたが、子供たちの成長を見るのが毎日楽しみでした。今後の活躍を期待しています。

○ この1年間を振り返って

授業・学力

全ての学習は、計画通り終わりました(終わります)。学習内容も例年通りの学習時間を確保し、丁寧に進めることができました。子供たちの学力は、6月当初に比べると大きく向上しました。6年生や中学校に向けての基礎基本の定着はできています。

ただし、5年生以前の学習の定着ができていないところがあります。(子供たち、「授

業を聞いていませんでした。」と反省しています。) 5年の学習を通して、改めて教えたり復習をしたりしましたが、5年の内容に重ならない学習では、確認ができていない箇所もあります。今後の学習を進めていく中で、振り返り、足りないところは定着を図っていく必要があります。

生活態度

授業中、真面目に意欲的に取り組んでいるので、よい生活態度や生活習慣は身に付いています。毎日の学校生活をきちんと過ごすことはそれほどまでに大きな結果につながります。その中でも、今後の人生に大きな影響を与えることが3つあります。

①挨拶や返事が大きな声でできること。

これができないと授業中に発言しなくなります。学力の向上にもつながる重要な生活態度です。また、意思表示の力は、人間関係をよくする、仕事を円滑に行うなど社会に出てからも重要な資質となります。

②話をしっかりと聞くこと。

話を聞けないと学力は伸びません。相手の意図を理解したり、要点を押さえたりという力が付かないのです。もちろん、聞けない子は姿勢・態度は悪くなります。聞き上手な人ほど話し上手であるということも重要なところです。

③努力できること。

努力したからといって成功するとは限りません。しかし、成功する人は必ず努力しています。努力は、成果を出すための必要条件なのです。

以上のことを毎日、子供たちには伝えてきました。子供たちはそれを素直に受け入れて、できるようになりました。5年生の生活態度がよくなり、雰囲気が変わったのは、これらの積み重ねの賜物なのです。今後も続けていってほしいと思います。

友達関係

自分の考えを主張するだけでは、よい人間関係は築けません。相手を尊重し、相手の立場になって考えることが必要です。実を言うと、この力も授業の中で育まれていくもののなのです。だからこそ、授業の充実は必要なわけです。「友達が考えたことを認める力」「間違いを責めずに助言し励ます力」「問題解決のために協力する力」「困難と一緒に立ち向かう前向きな姿勢」等、互いを思いやる姿勢や気持ちが、授業を通して培われました。「クラスの雰囲気がいい」という意見が子供たちから出ましたが、授業の取り組み方を見れば当然の意見だといえるでしょう。

新たな取り組み

10月以降の成長を語る上で外せないのは、タブレットPCの導入です。子供たちの新しい物に対する好奇心と適応力の高さで、学習に欠かせないツールとなりました。それだけでなく、新しい能力の発見につながったり、新たな友達関係の構築のきっかけになったりと、子供たちの意欲を高め、教育活動を能動的にする役割を果たすことになっています。一人一台のタブレット普及の効果はとても大きいもので、今後も期待がもてるものです。